

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 阿部信一  
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一  
新潟市北区すみれ野2-10-12  
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表  
浅野亘寛  
長岡市金町2-2-17  
TEL 0258-52-3998

## 新年度を迎えて

新潟県山岳協会副会長

片桐 一夫



玉珠山塊の未踏峰 (5,828m)

新潟県山岳協会23年度の最終理事會が長岡で開催され、上程された議案はすべて承認の運びとなつて、4月14日に評議員會(総會)が新潟で開催され、新年度を迎えることができました。

日本山岳協会の傘下にある加盟団体のなかで、新潟県山岳協会の規模は、東京・神奈川・大阪に次いで4番目の規模を誇っています。そのため、日本山岳協会への加盟分担金額が高額で県山協財務に大きな圧力となつており、皆様とともに事務局長には大変なご苦労をおかけしているところでした。

平成21年秋に、新潟二順目国体を済ませ、いつまでも国体一辺倒でもありませんが、山岳競技という団体競技があるかぎり、責任団体としてその責を負っていかねなければなりません。競技委員会・ジュニア委員会の方々には重ねてご苦労をおかけしています。が、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、県山協加盟67団体の

総会員数は2,700名を大きく超えています。これらの方々からいろいろなご要望をお聞きして、その実現に努力することも協会に課された大きな仕事でもありますので、加盟団体におかれましては、遠慮なく協会にお申し付けくださるようお願いしております。

近年、登山者人口の構成比率をみると、多くの加盟団体から高齢化してきているとお声が聞こえてきます。昔の3k(キツイ、汚い、危険)でもないのですが、若者の登山スポーツ離れがあるのでしようか?

徒党を組んで同じことをやるよりほかない時代が終わる、日本社会は物質文明に満ち溢れている現代となり、若者から登山スポーツを敬遠されがちのようになります。それより楽な携帯を遣つてゲームをやったり、友人と電話ごっこをしているほうがよいのでしょうか。

これでは、便利な装置が逆の効果、人と人とのコミュニケーション能力の劣化につながつてしまいます。それがきっかけとなつて些細なことで口論に発展し、人を傷つけることにならないようにしたいものです。

話が少し脱線気味になって

しまいました。が、県山協では専門委員会としてほかに登山技術の向上を図る「指導技術委員会」、遭難防止を主題としている「遭難対策委員会」、自然保護をテーマにしている「自然保護委員会」、そして「海外登山委員会」、「会報編集委員会」、「総務委員会」があり、それぞれの分野でご活躍いただいています。

折に触れてご案内している海外登山委員会では、今年9月に中国の未踏峰(5,828m)初登頂を試みます。登頂できれば命名権を得て山の名前を決めます。空気の薄い山歩きがどのように感じるかを体験されたい方はぜひ興味を持ってください。現在、女性3名を含んだ13名の隊員が準備会を重ねています。

登山スポーツにおけるいろいろな分野の研究も怠りなくやっていますので何なりとご相談ください。

そして「安全で楽しい」、「健康を維持できる」登山スポーツを推進していくことを大きな目標として協会行事を実行していきたいものです。冒頭にも記しましたが、26年ぶりの大雪だった3月16日(金)に、好天に恵まれたので弥彦山裏参道(西生寺コース)を歩いてみました。まだ





彌彦雪割草

雪が多くて「雪割草」の花は当てにしていまませんでしたが、見事に咲いていたのです。3月に入って急速に雪解けが進んだようです。コース上、最初のスカイラインを横切れば、その上部はまだ冬山状態で積雪が多く、それなりの装備が必要であることは言うまでもありません。しかし、登り口には「雪割草パトロール隊」も行動して居られました。花は見えて楽しむだけにしてもらいたいものです。気をよくして翌日、17日に隣の「国上山」に雪割草を見に行きましたが、これは甘い考え、雪が多くて一輪も咲いていません。わずかに「オウレン」が咲いていたほどです。

いよいよ春山シーズンが到来しました。4月～5月に栃尾の山で熊との再会、長岡の風谷山でカモシカとの再会を期待して山歩きを始めています。

## 冬山講習会に参加して

新潟大学ワンダーフォーゲル部 大原 元輝

私が新潟県の冬山講習会に参加させていただいて今年で5回目になりました。初めての参加は大学一年生の時で、

山の猛者であること知ることができ、これからの登山でも参考にさせていただこうと思えました。

どんな山に登るのかもよくわからないまま、部活の先輩に連れられて参加したことを覚えていません。初日の勉強会では、雪の種類や雪崩が起きるメカニズム、また当時は当部活では所持していなかったピーコンについての新しい知識を教えていただきました。

二日目の組倉山登山では、初めてわかんを付けて歩いた新雪の上はふわふわして気持ちがいいものでした。ただ、あまり雪の上を歩くことになれていなかったため、講習会の参加者の後ろのほうについて行かせてもらっていました。登山の途中の山の中腹で行った実習では前日の勉強会で出てきた雪洞作りとコンプレッションテストを行い、雪山で必要な技能を体験できる貴重な機会を得ることができました。あいにくと天気はあまり良くなかったため山頂まではいくことができませんでしたがそれでも楽しい山でした。

夜の懇親会はおいしい豚汁をいただきながら、新潟山岳会の阿部さんをはじめ、ほかの山岳会の方の登山の経験や思い出を聞かせていただきました。今まで山であった危険なこと、楽しかったことうれしかったことなどたくさん思い出話を聞き、講習会に参加している皆さんが本当に様々な山の体験をされている

このように初めて参加した冬山講習会は私にとって非常に実りある楽しい講習会だったと思います。そして、この講習会には毎年参加していきたいと思えました。それは自分の楽しみのためだけでなく、部活の後輩にも登山技術を学んだり、講習会に参加される他の山岳会の先輩方の話を聞いてほしいと思ったからです。そのように考え、私は大学四年まで毎年参加させていっていました。参加したそれぞれの年で勉強会の内容や山の中での実習の身も少しづつ変わっていて、毎年何かしらの新しい知識を学ぶこともできました。登山のほうは三回目の参加のときに天気に恵まれて、初めて組倉山の山頂に立つことができました。山の途中で帰っていたときも楽しかったですが、やはり山頂に立てたときは格別のうれしさがありました。そして、私が上級生として冬山講習会に連れてきた後輩たちも参加した後は、非常にためになる講習会に参加できてよかったという感想を聞くことができました。

残念ながら昨年は私も忙しく、部活でも人数が集まらなかったために参加することができませんでしたが、私が大学を卒業することになる今年、最後だからと再び参加させていただきますました。今年から会場になる山も焼峰山に変わり、参加人数も大幅に増えていたことに驚いたりもしましたが、新潟山岳会をはじめとする以前から参加されていた方々にも暖かく迎えていただき、より充実した勉強会や実習を受けることができ、大変にありがたく満足できる講習会を受けることができました。来年度はまた違う会場になるそうですが、非常にためになるこの冬山講習会を長く開催し続けていただきたいと思えます。6年間お世話になりました。

残念ながら昨年は私も忙しく、部活でも人数が集まらなかったために参加することができませんでしたが、私が大学を卒業することになる今年、最後だからと再び参加させていただきますました。今年から会場になる山も焼峰山に変わり、参加人数も大幅に増えていたことに驚いたりもしましたが、新潟山岳会をはじめとする以前から参加されていた方々にも暖かく迎えていただき、より充実した勉強会や実習を受けることができ、大変にありがたく満足できる講習会を受けることができました。来年度はまた違う会場になるそうですが、非常にためになるこの冬山講習会を長く開催し続けていただきたいと思えます。6年間お世話になりました。



講習会風景



# 新潟県山岳協会平成23年度第4回理事会議事概要

- ・日 時 平成24年3月31日（土）午後1時～同4時25分
- ・会 場 長岡中央公民館302教室
- ・出席者数 29名

## 1. 開会挨拶

阿部会長から、「会長に就任して1年を迎えるが、まだ相談すべき課題が山積みとなっており、皆さんと相談しながら一つひとつ解決し、よりよい方向に変えて行きたい。来年より、日本山岳協会が公益社団法人に移行することに伴い、加盟団体の分担金の変更がある。加盟団体の多い新潟県は、現在の試算では、40千円ほど増額となる。4月の評議員会に向けて、本日の活発な議案審議をお願いしたい。」との挨拶があった。

## 2. 議案審議

第1号議案 平成23年度専門委員会事業報告について

第2号議案 平成23年度専門委員会決算報告について が一括上程され、

・総務委員会・技術指導委員会・遭難対策委員会・自然保護委員会・競技委員会・ジュニア委員会・海外登山委員会・会報編集委員会の各委員長から平成23年度の事業報告と決算報告が配布資料に基づいて説明された。競技委員会とジュニア委員会の記載を再整理する、また一部記載違い等を修正のうえ、承認された。

五十嵐基金の用途についての質問があったが、平成15年度の理事会でジュニアの育成に使用することが決定されていると事務局から報告があった。

競技委員会とジュニア委員会のあり方について議論があり、今後の理事会の中で、検討を加えることとなった。

第3号議案 平成24年度専門委員会事業計画について

第4号議案 平成24年度専門委員会事業予算について

・総務委員会・技術指導委員会・遭難対策委員会・自然保護委員会・競技委員会・ジュニア委員会・海外登山委員会・会報編集委員会の各委員長から平成24年度の事業計画と事業予算が配布資料に基づいて説明された。

以下の条件で、承認された。

① 自然保護委員会が開催する山岳写真展に協会会計から25千円補助する。

② 総務委員会の委員会開催時の協会会計からの旅費補助20千円は補助しない。

また、総務委員会に、婦人委員会設立に向けて、小林文子氏（南魚山岳の会）と井口礼子氏（見附山岳会）を、また、技術指導委員会に、技術指導強化のため、渡部哲朗氏（下越山岳会）を夫々の委員会委員として委嘱することが承認された。任期は、現委員の任期と同じ、平成25年3月31日まで。

## 3. その他質疑事項

- ・会報のPDF化を検討願いたい。
- ・山小屋の整備・登山道の整備は、自然保護委員会で新潟県に対応する。
- ・ジュニア委員会事業の中にクライミング競技だけでなく、登山の事業を検討願いたい。
- ・旅費支給基準について、過去の理事会で決定されている基準をもとに、委員会旅費の支給可否も合わせ今後の理事会の議事に付し、文書化する。

## 4. 平成23年度の3月30日現在の収支状況と平成24年度予算について、配布資料に基づいて、事務局長から説明があった。

平成22年度繰越金	1,306,808円
平成23年度収入	2,379,909円
平成23年度支出	2,232,816円
平成23年度3/30残高見込	1,453,901円

23年度中に十日町山路野会、越峰クラブが退会した。24年度は、64団体となる。

## 5. 報告事項

- (1) 高体連から、「北信越かがやき総体（インターハイ）登山大会を24年8月7～11日、苗場山系で開催する。大会運営は、高校職員で対応するので、当協会へは、人員の派遣要請はしない。8日から10日の間は苗場山系に200人くらい入山するので、出来れば、その間の入山は控えていただきたい。」との説明があった。
- (2) 25年4月1日からの日本山岳協会の公益社団法人への移行に伴う変更点について、



23年度第4回理事会



・この法人の構成員は、正会員と賛助会員で構成。

(正会員は、各都道府県において登山界を統轄し、その普及振興を行う団体を代表する者及びこの法人の目的に賛同して入会した登山及び山岳スポーツ団体を代表する者または学識経験者)

- ・正会員の会費 50,000円
- ・加盟団体の分担金 各加盟団体の構成団体数×7,000円
- ・25年度からは、新潟県山岳協会(構成団体数67)の分担金は469,000円となる。正会員の会費50,000円と合わせ 519,000円 の負担となり、84,000円の増加となるが、増加加盟団体に対し、当面の間軽減措置として、増加額の半額を減額する。従って、新潟県山岳協会は42,000円の負担増となる。
- ・理事はブロック別理事10名、学識理事15名(関東ブロック4名、会長推薦5名、全国ブロック6名)とする。
- ・総会の権限よりも理事会の権限が大きくなっている。

- (3) 県環境課から「ふるさとの自然再生共同事業」への申請案内が来ている。資金交付希望団体は自然保護委員会に連絡。
- (4) 平成24年5月12~13日長岡市にて、「全国野鳥保護のつどい」が開催される。対応は、自然保護委員会。
- (5) 越峰クラブから退会の申し出あり。新潟市新津支所職員山岳会から新津タムシバの会に名称変更の届け出あり。
- (6) 携帯電話位置情報についての県内状況について  
警察はすべての地域で対応しているが、GPS受信位置がない消防は、阿賀町、小千谷市、見附市で、他地区はOK。中継局情報までの携帯電話あり、携帯電話の機能により、位置精度が違う。 以上

## 協会加盟団体・役員へのメール配信一覧 3/16~4/7

配信日	内 容	送 信 元	取扱い・委員会
3//16	山岳総合センター等の資料	長 野 山 岳 総 合 S	県山協事務局
3/16	24年度評議員会開催について	県 山 協	県山協事務局
3/20	23年度日山協競技委員会	日 山 協	森副会長、競技
3/24	日本百名山写真コンテスト 深田久弥	山 の 文 化 館	県山協事務局
3/30	23年度第4回理事会出席一覧	県 山 協	県山協事務局
4//3	JASA第4回国体委員会	日 本 体 育 協 会	県山協事務局
4/3	県山協事業計画書	県 山 協	県山協事務局
4/5	24年度スポーツ振興支援事業	県 体 育 協 会	県山協事務局
4/7	24年度評議員会、懇親会出席者名簿	県 山 協	県山協事務局
4/7	24年度日山協競技委員会総会	日 山 協	森副会長、競技
4/7	24年度登山研修所事業計画	日 山 協	指導技術遭難対策
4/7	23年度第4回理事会概要	県 山 協	県山協事務局
4/7	公益法人への名称変更、東日本震災	県 体 育 協 会	県山協理事長

事務局長・井村健一 (025-259-7152) 競技委員会委員長・今井浩二 (0257-23-0961)

理事長・遠藤俊一 (025-265-4181) 副会長・森 庄一 (0258-72-2710)

ジュニア委員長・稲田春男 (0255-36-3958) 指導技術委員長・嶋原哲也 (025-385-3678)

遭難対策委員長・井 春文 (0257-82-2437)

※メール内容の問い合わせは取扱・委員会、事務局でご確認下さい。

### 海外・国内旅行、主催・手配



**ユニオン航空サービス**

国土交通大臣登録旅行業第553号・JATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 〒940-0094 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123

□新潟営業所 〒950-0918 新潟県長岡市幸町1丁目2番11号 ☎ (025)246-2266

### 登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



**パーマーク**

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>



## 春山には危険がいっぱい

～最新気象情報で早めの判断を～

春は天気の変化が激しい季節です。ポカポカ陽気は長続きせず、低気圧の通過に伴い、気温の急降下、突風や落雷が発生することも珍しくありません。山岳での天気変化はさらに激しく、冬のような天気となってしまうこともあります。

また、積雪が残っているところも多く、雪崩に巻き込まれて遭難する事故も毎年のように発生しています。

一週間以上も続くゴールデンウィークに絶好の登山日和だけが続くのは望むべくもありません。

連休だからと、自然を無視して人間の都合だけで登山の計画を立てることは命取りになりかねま

せん。

幸いにして九死に一生を得た場合も、遭難することによって家族や関係者にかかる心配や迷惑は計り知れません。

安全に春山を楽しむためには、週間天気予報などを参考に自然が人間を受け入れてくれる日はいつかを見極めて登山計画を立てることが大切です。常に最新の気象情報に留意して、天気の急変が見込まれるような場合にはすぐに下山の判断をするなど、安全サイドに立った心構えが重要です。

## 編 集 後 記

▲テレビでは花見や夜桜の様子が放映されている。私ら山辺の地は、またミズレから本格的な雪となった。スノシューで歩きまわってもマンサクの可憐な花びらもまだ見ることができない。そんな中、仲間から最新の浅草岳から鬼ヶ面山の写真が送信されてきた。標識についてのシュカブラと鬼ヶ面山東面が圧倒的だ。例年にくらべても積雪の多さが想像できる。早速写真を誉めてやった。▲下界では花見、夜桜の下の宴会では急性アルコール中毒になり便所で遭難。また知ったかぶりですった山菜での中毒が何件か報道されている。そんなものとは大いに違うが、年末と正月に魚沼出身の遠藤前会長と高根の遠山さんにご馳走になった、「アザミ」を使った料理はなかなかの逸品だったし、「イタドリ・ミズナ」の炒め煮などは風味豊かで味は上品でさえあった。春先採ったイタドリは皮をひいて塩漬けにしておき、ほど良い時期にとったミズナと十分に塩出しをして炒め煮にしたと思われる。歯切れのよさとシャキシャキした食感とかすかな酸味とあいまった上品な飽きない味だった。ミズナはともかくイタドリは子供のころ春先ボンと折ってかじったくらいだったし、アザミは食品として余り馴染みがなかったが、聞いてみるとやはり、魚沼に通じる谷沿いでは貴重な山菜として食べられていたらしい。長い冬が終わり新緑もまぶしい5月の頃、紫の花をつけない「女アザミ」を採集して樽に塩漬けしておき、青い葉野菜のなくなるころ塩出しをして、煮菜の要領で調理するのだそうだ。独特のほのかな芳香と口の中に入れた時のさわやかさが特徴でなんとも言えない絶品だ。おそらく両食とも有史以前?から大切に食べられていた山菜にちがいない。ふと大根の青い葉をワラで編み上げ、軒先につるして乾し葉にしたのを煮菜にしたり、乾し葉雑炊の、あのお日様の匂いと味を思い出した。 会報：編集 浅野

ALways Security OK

**ALSO**K

新潟総合警備保障(株)

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20

TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445



魚沼の酒

www.hakkaisan.co.jp

八海醸造株式会社 新潟県南魚沼市長森1051番地 お客様相談室 025-775-3866

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

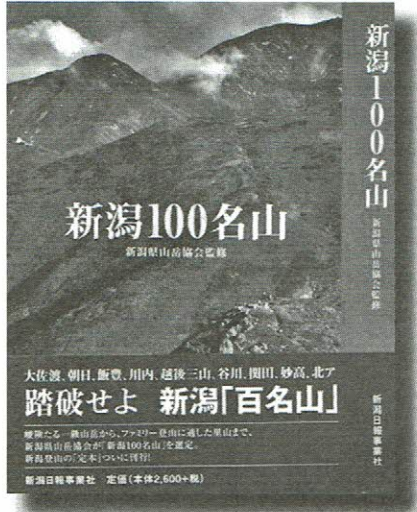
**ICI 石井スポーツ**  
新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134 特  
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm



# 魅力いっぱい！新潟の山々

新潟県山岳協会/監修 新潟県山岳協会の会員達が地元の利を生かして撮り、執筆した見ごたえのある『新潟100名山』・『新にいがた花の山旅』となっている。



『新潟100名山』○A5版・412頁○定価2730円(税込)      『新にいがた花の山旅』○A5版・262頁○定価1680円(税込)  
 新潟日報事業社 出版部〒951-8131新潟市中央区白山浦2-645-54 025-233-2100

## 平成24年度県山協事業計画 5月～7月

	5 月	6 月	7 月
総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日山協総会20日東京</li> <li>●婦人委員会会議 日程未定 長岡</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●第58回弥彦松明登山祭 第54回高頭祭25日(水) 弥彦村・弥彦村</li> </ul>
指導技術委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>■日山協指導委員総会 9日(土)～10日(日)東京・晴海</li> <li>●岩登り講習会17日(日)杉滝岩</li> </ul>	
遭難対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遭難対策委員会会議 日程未定</li> <li>■遭対常任委員夏山研修会 12日(土)～13日(日)上尾市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日山協遭難対策研修会 兼委員総会23日(土)～24日(日) 茨城県牛久市</li> <li>●安全登山講習会 三条市 30日(土)～7月1日(日)</li> </ul>	
自然保護委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第54回春季自然保護研修会 19日(土)～20日(日)中越</li> </ul>	○環境月間	
競技委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第15回新潟カップ(県予選兼 ジュニアクライミング大会) 27日(日) 国際自然環境アウトドア専門学校</li> <li>■北信越国体代表者会議 (福井県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第26回リードジャパンカップ ぎふ清流国体リハーサル大会 9日(土)～10日(日)岐阜市</li> <li>○競技力対策・北信越国体監督 会議30日(土)新潟市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■北信越国体21日(土)～22日(日) 福井県立クライミングセンター</li> </ul>
ジュニア委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第15回新潟カップ(県予選兼 ジュニアクライミング大会) 27日(日) 国際自然環境アウトドア専門学校</li> </ul>		
海外登山委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>■第30回国際委員総会及び 海外遭難対策研究会 23日(土)～24日(日) 神奈川大学箱根保養所</li> </ul>	
その他		○24年度全国高校総体県実行委 員会2日(土)新潟市(理事長)	
会報編集委員会	新山協ニュース 25日発行	新山協ニュース 25日発行	新山協ニュース 25日発行